

## 【平成30年度下期顕彰先一覧】

年次	助成先名	業種	助成事由
平成30年度下期 10先	アジア・ラゲージ(株)	鞆卸売業	「自社製ハードキャリアバックへのUVプリントサービス」。自社国内工場に大型UVプリンターを導入しオリジナルデータ等を印刷（特許出願中）することで世界で一つだけのキャリアケースを製作するサービスをH30年9月より開始、「オリジナルを作りたい」という顧客の声に応えるため、データがあれば1つから手作業で製作可能という、業界初のサービスの提供を行なっている。
	(株)サーマル	工業用熱処理炉製造業	油冷銅・空冷銅およびハイス鋼の同時処理が可能な熱処理装置（小型炉）の開発。また、鋼の焼入れに不可欠な急速冷却の2方法（油冷と空冷）兼用の小型炉では肉厚の金型材には不向きという問題も解決した。更に、消耗部品を削減することで維持コストの削減を可能とした。2015年販売開始し販売実績5台。完全受注生産で1機約14百万。現在引き合いが強く、生産が追い付かない状況となっている。
	スリーピース(株)	はん用機械器具製造業	粒度分布のバラつきが少ないコーヒーミルユニットを開発。従前のコーヒーミルは、コーヒー豆の微粉（ダスト）が多く、苦みとコーヒーの質の低下を生んでいた。今回、この微粉が出来る限り発生しないコーヒーミルを開発。本製品は、既にUCCのコーヒーマシンに利用され、ローソンの一部店舗でも新型マシンに切り替わっている。また、コンビニ最大手であるセブン・イレブンを担っている富士電機(株)よりの引き合いがある。
	(株)プランニングネットワーク	建設コンサルタント業	災害対応救助訓練ユニットの設計・販売。当社は景観・デザイン業務と地域振興の一流コンサルティング企業。近年頻発した自然災害時の復興に当たっての大学との共同研究を行なう中で、新分野である災害時救助訓練ユニットの企画・設計・販売を開始。H26年以降近畿、和歌山、神奈川の警察学校、消防学校等への販売。H30神奈川県消防課に対して施設設計業務及びユニット68基で94百万の実績となった。
	(株)サーフェステクノロジー	建設コンサルタント業	高速道路等の既設高欄の防水塗装について補強鋼板部の錆落としと塗替え塗装をスムーズに行なうための機械化工法の開発。老朽化が著しい首都高高欄リニューアル工事にて1班当りの施工速度が1夜間20m⇒150～200m、従来人員20名⇒7名が実現。また、排水・排塵問題も軽減。みらい建設工業やトビー建設工業より受注確保。現在1セットが首都高速にて施工実施中で今春3セットに増設予定。
	(有) 笠原製菓	米菓製造業	「せんべいを、おいしく、かっこよく」をコンセプトに自社ブランド「SENBEI BROTHERS」をH26年10月に立ち上げた。斬新なパッケージ、素材を活かす新たなひらめき、そして60年の伝統の味を活かして商品化を行い、現在は30種近い味の商品を展開。他社製品との差別化とともに価格競争に陥らないブランドイメージを確立し、3期連続増収増益。メディアでの反響も大きく生産が間に合わない状況。
	(株)ホリイ	皮革販売・卸売	日本の伝統技術を融合させた唯一無二の「天然藍染皮革」の販売と派生商品の展開。天然藍染はアルカリ性のため皮革染色に向かないものを、8年間の試行錯誤による技術開発により、藍染でも柔らかい皮革を実現し、H27年より当社設立し商品化した。世界に類を見ない皮革として高い評価を得て海外有名ブランドでも採用されているもの。スクモレザーの開発技術を生かして「スクモパール」も開発している。
	丸泰土木(株)	土木工事業	「油圧ハンマの騒音防止装置の開発」。鋼管杭の施工方法で杭の支持力の信頼性と工程及び経済性において他の工法に比べて優れている「打込み杭工法」は、騒音問題により市街地での施工が敬遠されてきた。本装置は、この工法の唯一の弱点を克服するものとして開発され、その普及は社会全体にとって大変有意義なもの。H29年1号機完成（特許申請中）。H30年8月より製品化し5台が現場で活動中。
	エレファンテック(株)	電子回路製造印刷	インクジェット印刷による電子回路製造を世界ではじめて量産化した。独自開発のインクを樹脂フィルムに直接印刷し、銅メッキを重ねる手法。無駄がなく、廃液も出さず環境に優しくコストダウンも可能。2014年に東京大学発スタートアップとして創業し4年間の研究を経て他が実用化に苦戦している中、2018年1月にFPC製造量産工場を稼働した。
	アコマ医科工業(株) ＜最優秀賞＞	医療機器製造販売業	純国産の麻酔用二酸化炭素吸収剤「アコマライムゼロ」の開発。循環式吸入麻酔器に使用する二酸化炭素吸収剤は従来輸入品に頼っていたが、2015年に開発開始して2018年3月に純国産製品として販売を開始した。二酸化炭素の吸収性能向上し、有害物質の発生がゼロで極めて安全な吸入麻酔を行なうことが可能。当社製麻酔器への使用を輸入品より切替促進することにより国内シェア奪取を図る。